

スクッピーだより



令和8年6月発行

【発行】調布市子ども発達センター 〒182-0032 調布市西町290-49
TEL 042-486-1190 E-mail/ ayumi@city.chofu.lg.jp

ごあいさつ

子ども発達センター長 柴田美保子

はじめまして。この4月から子ども発達センター長に着任しました柴田と申します。4月上旬、飛田給駅からセンターへ向かう道中、満開の桜に心癒され、「ようこそ、子ども発達センターへ！」と言われたような気がしました。そして現在は、子どもたちの笑顔と歓声に元気をいただく毎日です。

センターでは、お子さま一人ひとりの発達を見守り、必要な支援を提供することを使命としており、職員一同、お子さまの健やかな成長を願い、きめ細やかな支援に努めてまいります。

スクッピーだよりを通じて、センターの事業やイベントのご案内などの情報をお届けします。ご不明な点やご相談がございましたら、遠慮なくお申し出ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

通園事業あゆみ園長 秋山恵美

4月に13人の新入園児さんをお迎えしました。初めての場所にドキドキしながらも、お外遊びや体あそびなどの好きな遊びを見つけて過ごしています。あゆみでは、子どもたちが持つ力を発揮できるよう、遊びを通じた支援を大切にしています。夏には水遊びやなつまつり、秋には遠足や運動会も行います。

給食では、さまざまな食育活動を通して食べるきっかけを作っていきます。たくさん遊ぶのでお腹がすくようで、「おかわりください！」と目をキラキラさせて伝えてくれます。

毎日が楽しく通えるよう、全力でサポートしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

保護者カードの運用変更について

今年度より、保護者カードの運用を変更しています。

令和7年度まで、保護者カードを発達センター利用の方全員に発行していましたが、お子さんが単独で通う通園事業と幼児グループの保護者の方のみに発行することとなりました。

お子さんと一緒に来館される保護者の方は、保護者カードの提示は必要なくなります。ご不明な点がありましたら、相談担当までご連絡ください。

バス利用時のお願い

- ・バス内での飲食は、ご遠慮ください。食物アレルギーをお持ちのお子さんもしらっしゃいますので、ご協力よろしくお願い致します。
- ・短い時間であっても、できる限りシートベルトを着用ください。
- ・ドアが開く際に、ステップが出ます。足元にお気をつけください。

イベント一覧

【問合せ】調布市子ども発達センター ☎042-486-1190

市民講演会

テーマ 発達の気になる子のきょうだいについて考える
～きょうだい児のこれからがハッピーでありますように～
講師 吉川 かおり 氏（明星大学 人文学部福祉実践学科 教授）
日時 令和8年7月30日（木）午前10時から12時
場所 調布市文化会館たづくり12階 大会議場
定員 100人
申込み 令和8年6月22日（月）から7月24日（金）まで
保育 定員20人（1歳以上）



お申込みはこちらから

保護者講習会

テーマ 子育てのこまった！に答えます
～イヤイヤ、がんこは「こまった子」？それとも「こまっている子」？
講師 宇賀神 るり子 氏（調布市子ども発達センター 言語聴覚士）
日時 令和8年6月30日（火）午前10時から11時30分
場所 調布市子ども発達センター 3F室
定員 30人
申込み 令和8年6月8日（月）から6月21日（日）
保育 定員6人（1歳以上）



お申込みはこちらから

知っていますか？<お知らせメール>

子ども発達センターでは、センターの催し物やイベント、スクッピー友の会（センター利用者の父母会）、調布心身障害児・者親の会などの催し物などのお知らせを、ご希望の保護者の方へメール配信しています。（卒園した後も、イベントなどのお知らせを配信します。）

事業の急な中止、イベント開催方法の変更や中止などのお知らせも配信しますので、ぜひご登録ください。

お知らせメールの登録方法

- 子ども発達センターメールアドレス（ayumi@city.chofu.lg.jp）にメールを送信
【送信内容】
（1）メールタイトル・・・「お知らせメール配信希望」
（2）本文・・・・・・・・①お子様の氏名、②保護者氏名、③電話番号、④お子様の生年月日
- センターの職員がテストメールを送信
メール受信制限などをされている場合もありますので、こちらからお送りするメールが届くかメール配信テストを行います。
- テストメールが届いたら、届いた旨を返信
- 職員がメールアドレスを登録して完了

QRコードからメール
画面にとべるよ！





i-ファイルの紹介



i-ファイルは、保護者の方と様々な関係機関が連携、協力してお子さんを支援できるよう、お子さんの成育歴やこれまでに受けてきた支援の内容を記入し、関連する書類をファイルしておくものです。新たに関係する機関などが増えた時に、必要なページを見てお子さんのことを説明し、提示することでお子さんに一貫した継続的な支援が提供されることを目的としています。

＊使い方＊

○あらかじめファイルの中にあるシートに必要な事項を記入します。

○センターが作成した目標シートや検査結果報告書、就学支援シート、障害児支援利用計画、モニタリング報告書等を一緒に挟み保管してください。また、医療機関や幼稚園・保育園、学校等からの書類も一緒に挟みご使用ください。

○入園や入学、その他様々な機関を利用する際に、必要なページを提示したり、コピーを提出することで、保護者の心配やお子さんのことをわかってもらうための情報共有ができます。



＊ダウンロードもできます＊

- 調布市のホームページ・子ども発達センターより用紙のダウンロードができます。
- 必要な用紙だけ選んで印刷ができます。
- 直接入力できる「入力版」もあります。

「調布市障害児等福祉教育連携会議」や「調布心身障害児・者親の会」、アンケートやインタビューで保護者からいただいた意見を取り入れ、令和7年5月に改訂版が完成しました。

従来のi-ファイルをお使いの方も、是非ご活用ください！

主な変更点

- 1 白紙だった「自由記入シート」に項目を追加
- 2 母子手帳やおくすり手帳と重複する内容のページを縮小及び省略
- 3 「福祉シート3<利用サービス>」のサービス名を、記入式から選択式に変更

ダウンロード・詳細はこちら！→



配布場所…子ども発達センター、教育相談所、障害福祉課、子ども育成課、子ども政策課
子ども家庭センター、子ども家庭支援センターすこやか

子ども発達センターが大事にしていること

子どもたちの「遊び」を大事にしています。



「遊び」とは、たくさんの要素があり、お子さんの成長に深くつながっています。
センターの職員はこのような考えのもと、「遊び」に取り組んでいます。

“遊んでいる時のキーワード”
楽しい・おもしろい・気持ちがいい

- 自分の好きなことで遊ぶ。
- 大人や友達とやり取りして遊ぶ。
- 友達のやっていることに興味を持ちながら見る。
*大人はその楽しみ方にじっくり付き合います。

意欲

「もっとやってみたい！」

達成感

「やったあー！」



人は心地よい存在

気持ちを代弁することが大切です！

代弁することで…

大人：“その気持ち分かってるよ”

子：“気持ちを分かってもらえた！”

“よかったあ〜”

体も心も安心して
過ごせること

*この経験を重ねると…

子どもは、

「自分を受け止めてくれる人がいる

自分は愛されている存在なんだ

という心地よさを、いっぱい感じてくれる
でしょう。

- どんな活動でも、伸び伸びと遊べる環境を設定する。
- 子どもの好きなこと・嫌いなこと・不安になることを理解して関わる。
- 遊びの中で、失敗感や恐怖を抱くことを少なくする。



*安心して楽しめる。

だからこそ、できるようになったり、新しいことにもチャレンジできるようになります。

- 『楽しい・面白い・気持ちいい』『体も心も安心して過ごせること』『人は心地よい存在』

3つのポイントを、子どもたちがたくさん感じて経験していくことで、

“自己肯定感”（自分の気持ちが満たされること）を持ち、自信を積み重ねていきます。

そこから、のちにつながる集団生活・社会との交流への基盤になっていきます。